

Action!

那珂市 市民活動
インフォメーション
“あくしょん”

No.

45

2025 May



お知らせ

『2025夏休み 学生ボランティア体験』を 実施します

那珂市社協では、市内のボランティア・市民活動団体や福祉施設の皆さまのご協力により『2025夏休み 学生ボランティア体験』を実施します。この企画は、夏休み期間の8月を利用してボランティア活動に参加していただくことで、普段かかわることのない世代・立場のかたとの交流を通じて、地域のさまざまな福祉活動について知っていただくことを目的としています。今年もたくさんの学生さんのご参加をお待ちしております。

主な活動内容

- ボランティア・市民活動団体が行う福祉や環境保護などの活動への参加
- 福祉施設等でのボランティア活動への参加

体験期間

8月1日(金)～8月31日(日)

参加対象

- 市内在住、在学の小学生から大学生
- 市外在住の18歳以上の学生（高校生を含まない）

参加費

無料

参加方法

パンフレット（6月下旬に市内の学校へ配布予定）をご参照のうえ、専用のWeb申込みフォームから、7月1日(火)～7月17日(木)の期間にお申込みください。申込み状況は那珂市社協のホームページ上で公開する予定です。

お問い合わせ

社会福祉法人那珂市社会福祉協議会
総務・地域支援グループ
☎ (029) 229-0309



'24 Memories





#34

観光ボランティアガイド那珂

会長 小田部 一彦 氏

－今回は『観光ボランティアガイド那珂』の小田部会長にお話を聞かせていただきます。小田部さんはいつ頃から活動されているのでしょうか？

「私は18年前の結成時から会に入っていますが、その前から個人的にガイドのボランティアをしていました。」

－観光客からの依頼はどのようにして届くのでしょうか？また、依頼の頻度はどれくらいですか？

「依頼は市役所の商工観光課を通じて私たちの元に届きます。頻度としては、一年で30日ほどガイドを務めています。それ以外でも観光客を見つけると自主的に案内してるんですよ(笑)」

－普段どのような活動をされていますか？

「現在は主に額田地区のガイドをしています。額田城跡、毘盧遮那寺、阿弥陀寺など、額田地区にはたくさんの観光名所があります。」

－ご自身が活動を始めるきっかけとなった出来事がありましたか？

「もともと学生時代から歴史が好きでしたが、詳しく調べるようになったのは20年ほど前からです。現在の額田城跡は、保存会などの活動により整備されていますが、当時はごみ捨て場と化していて、冷蔵庫なども捨てられている有り様でした。それを聞いた市外の知人から“歴史や文化に対する市民の理解が不十分なためではないか”と指摘されたのです。その頃から、もっと歴史を学び、市民に伝えることが大事と考えるようになりました。今は茨城県郷土文化研究会の役員も務めており、毎年論文を書いています。また、小中学校で社会科授業を受け持ったり、仲間たちと『那珂市観光かるた』を作成したり、市民向けの講演会を開催したりと、歴史や文化の伝承活動にも力を入れています。」

ー歴史を調べる中でどのような気づきがありましたか？

「那珂市の歴史のすごさに気づきましたよ。例えば、額田城跡は東京ドームの21.5倍もの規模があり、現在の地区交流センター、小学校、郵便局などは当時の城の敷地内に建っていることになります。あまり知られていませんが、県内の城跡で最大面積を誇ります。また、古文書の発見から、額田の家臣団が見えてきました。信州(長野県)の小諸古城の城主である小室氏が、本米崎地区に流れてきたことが分かったのです。あの島崎藤村の『小諸なる古城のほとり』のまさしく古城の城主が、額田の家臣団の一人だということです。城跡をガイドしながらもこうした歴史的事実に接するとき、何とも言い難いものを感じます。」



ー今はどのような場所が人気ですか？

「阿弥陀寺のしだれ桜や毘盧遮那寺のボタンを観るためにたくさんの観光客が訪れています。今年は県外のみならず、オランダ、韓国、台湾からもいらっやっています。インターネット(SNS)を通じてそれらの場所を知ったようで、私たちとしては国際化の波を感じているところです。」

ー外国籍のかたに伝えるのは大変ではないですか？

「カタコトの英語でも通じるものですよ(笑)伝えようとする気持ちが大事です。」

ー最後に、観光ボランティアガイドとして心がけていることや、今後の抱負を教えてください。

「一つは、相手のことを分かったうえで案内することです。“どこからいらっやいましたか？〇〇ですか、そこには△△がありますね”というように、積極的にコミュニケーションを取っています。そうすることで相手がより興味を持って話を聞いてくれますから。もう一つは、案内するためには歴史を知らなければならないということです。私たちは今も勉強していますが、知識がつくのは楽しいことです。会員のほとんどが後期高齢者となり、孫たち世代に歴史や文化を伝える立場となりました。その一環として観光ボランティアガイドの活動を続けていきたいと考えています。」



編集後記

誌面に到底収まらないほど、小田部さんは熱く歴史について語ってくださいました。インタビュアーの名字から先祖のルーツを教えてくださいなど、相手を飽きさせない話術はさすがの一言で、何度も「へえー！そうなんですか！」と驚いてしまいました。また、これほど豊富な知識をお持ちでありながら、まだまだ学びたいという意欲的な姿勢には頭が下がる思いでした。小田部さんたちのようなかたにガイドしていただければ、きっと楽しい観光の思い出がつかれるだろうと感じたインタビューでした。

募集 #1

『なかなかパントリー』への寄付を募集しています

なかなかパントリーは、生活が大変な子育て世帯を応援するため、ボランティアさんのご協力のもと食品などの無償提供を行う活動です。実施にあたり那珂市社協では、住民・企業・団体の皆様から食品や寄付金を募集しています。昨今の物価高騰に伴い、多くの世帯が食の支援を必要としていますので、皆様のご協力をお待ちしております。

募集期限 令和7年7月17日(木)まで ※野菜・果物は翌18日(金)のみ受け付けます

- 募集内容**
- 保存可能な食品（お米・乾麺・インスタント麺・缶詰など）
 - 野菜・果物
 - 日用品 ※未使用品のみ
 - 現金（食品の購入費として使用します）



お預り場所 那珂市社協 瓜連本所（住所：那珂市瓜連321市役所瓜連支所分庁舎1F）
那珂市社協 菅谷事務所（住所：那珂市菅谷3198市総合保健福祉センターひだまり2F）

募集 #2

本広報紙の掲載記事を募集しています

ボランティア・市民活動団体のお手伝いを目的に、本広報紙を年4回発行しています。会員募集や活動のPRなどにご活用いただければ幸いです。お気軽にご連絡ください。

発行部数 2,000部（市内各戸回覧・市民活動団体代表者・コミュニティセンターなどで配布）

発行時期 5月・8月・11月・2月（記事の内容により変動します）

申込方法 電話・メール・SNSなどにより下記までご連絡ください

発行

社会福祉法人 **那珂市社会福祉協議会**
総務・地域支援グループ



Address

〒319-2102
那珂市瓜連321市役所瓜連支所分庁舎1F

Tel/e-mail

Tel (029) 229-0309
e-mail volunteer@naka-shakyo.net

Homepage(Website)

<http://www.naka-shakyo.net>



SNS (Facebook/LINE)

